

平成18年2月28日
内閣府（防災担当）

中央防災会議
「東南海、南海地震等に関する専門調査会」（第20回）
議事概要について

1．専門調査会の概要

日時：平成18年2月27日（月）10:00～12:00
場所：虎ノ門パストラル 新館6階 「アジュール」
出席者：土岐座長、阿部、入倉、河田、中埜、室崎、吉井の各専門委員、
武田内閣府官房審議官 他

2．議事概要

中部圏、近畿圏の検討対象とすべき内陸の地震について事務局より説明を行った後、各委員にご議論いただいた。委員からの意見等は以下のとおり。

大阪湾や伊勢湾など、海底を震源とする地震については、津波の検討も必要ではないか。

横ずれ断層と逆断層が混在する断層帯のモデル化を行うにあたっては、過去に起こった地震の例などを参考に、理解しやすい説明が必要である。

国と自治体では、検討目的が異なることから、結果に差異があり得るのは当然であるが、その理由を明確に説明することが望まれる。

防災対策を検討するにあたっては、阪神・淡路大震災に照らし、たとえ頻度が少なくても、最悪の場合を想定しておくべきではないか。

阪神直下に想定する地震については、断層モデルの位置について、さらに検討が必要である。

中部圏・近畿圏で過去に発生した地震について、資料を整理しておくこと。

<連絡・問い合わせ先>

内閣府 地震・火山対策担当参事官補佐 尾崎 友亮
同主査付 檜山 洋平

TEL：03-3501-5693（直通） FAX：03-3501-5199